

## 1 あいち医療ツーリズム推進協議会の開催

関係者間の連携促進を図りながら、医療ツーリズムの推進に向けた具体的な取組について引き続き協議する。(本日開催)

## 2 海外PR事業【資料1-1】

- 新型コロナウイルス感染症や海外情勢に左右されない方法により、あいちの医療ツーリズムを継続的に情報発信するため、多言語対応のポータルサイトを作成した。
- ポータルサイトは、海外の患者や国際医療コーディネーターに閲覧してもらうため、日本における医療ツーリズムに関する手続き情報を紹介するとともに、掲載協力をいただいた医療機関の取組事例や強みを掲載した。
- また、これから医療ツーリズムの受入れを検討する県内の医療機関に向けて、受入れに当たってのポイントとなる情報を掲載した。

### <サイトの概要>

#### (1) 目的

サイトを通じて本県の認知度向上を図るとともに、愛知県が医療ツーリズムの積極的な受入先であるとの認識を広げ、将来的な外国人患者受入れ人数の増加に繋げる。

#### (2) コンテンツ(日・英・中3か国語対応)

- ・医療ツーリズムの流れ(海外向け)
- ・医療機関情報(海外向け)
- ・これから医療ツーリズムを始めるには(県内医療機関向け)

#### (3) 主な掲載協力医療機関

- ・名古屋共立病院
- ・独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院
- ・藤田医科大学病院
- ・大雄会第一病院

## 3 医療機関向けアンケートの実施【資料1-2】【資料1-3】

医療ツーリズムの現状及び推進にあたっての課題について、前回(昨年度)の調査以降の変化等を明らかにするため、「外国人患者の受入れ状況に関するアンケート」を実施した。

#### (1) 調査日

令和5年7月10日から8月7日

#### (2) 対象

県内病院の一部(187病院)

#### (3) 回収率 49.7%(93病院から回答)

## 4 訪日外国人の動向について【資料1-4】

#### (1) 訪日外国人の推移について

- ・令和5年10月時点で、訪日外国人数はコロナ前(令和元年10月)を上回る。
- ・中国からの訪日外国人数はコロナ前(令和元年10月)比35.1%。

#### (2) 医療滞在ビザの発給件数について

- ・本県では、国家戦略特区にて(1)「早期治療が必要な場合の滞在期間の延長等」(令和2年3月全国措置)、(2)「日本で早期治療を要する外国人の医療滞在ビザ(査証)の迅速な発給」(令和4年11月全国措置)を提案。
- ・令和4年度は、過去最多の1,804件の医療滞在ビザが発給。
- ・発給件数は未だ中国が高い割合を占めるが、ベトナムも増加傾向にある。